

平成 25 年度（2013 年度）日韓共同理工系学部留学生事業協議会 報告

1. 主催 : 静岡大学
2. 日時 : 2013 年 6 月 19 日（木） 13:00-17:00
3. 場所 : 静岡市産学交流センター 6 F（B-nest）
4. 出席者 : 工学研究科 寺井智之 講師
学生交流推進課 今井京子 課長、八幡美穂 係員
国際教育交流センター 村岡貴子 教授
5. プログラム : 別紙資料の通り

6. 全体討議における主要なテーマ

以下の 3 点から全体討議が行われた。別紙、両国の実務者協議に関する資料内容と重複する箇所は記述を割愛して口頭で説明し、以下には特に(1)について報告する。

- (1) 学生の日本語能力や学習態度に関する問題とその対応
- (2) 学生の全国の大学への配置に関する問題
- (3) 兵役休学制度に関する現状と課題

(1) 学生の日本語能力や学習態度に関する問題

- 1) 日本の大学において学部入学後に必要な日本語能力が獲得されていないという指摘があった。韓国側からは、特に最近の若い学生は漢字についての知識や能力がかなり低いため、その指導を強化しているとの報告があった。
- 2) 韓国の慶熙大学での予備教育機関関係者から、韓国側において最低でも日本語能力試験の N3、あるいは N2 に合格するレベルに達するよう鋭意努力したいと回答があった。なお、日本語能力が極めて高い場合、日本への直接配置も、文科省とも検討中であるとのこと。
- 3) マークシート方式の回答に慣れている韓国人留学生には、日本語での論述が苦手であるとの指摘があり、韓国側の関係者もその重要性を認識している旨説明があった。今後日本と韓国との共同での研究を進めたいとの提案があった。
- 4) 日本側から、日本語能力とともに、遅刻や欠席の問題を含む学習態度についても広く事例が紹介された。韓国側からは、今期第 2 次第 4 期の学生への予備教育では一層指導を強化した結果、現状では昨年度のような問題はかなり減少しているとの報告があった。

以上

韓国国際教育院および大阪韓国教育院の各来訪者への対応 報告

1. 日時：2013年6月20日（木）
2. 場所：I Cホール4階会議室
3. 来訪者：韓国教育部国立国際教育院 李秉允 上級研究員、金次守 教育研究士
大阪韓国教育院 宋鍾錫 院長
対応者：国際教育交流センター 村岡貴子 教授、西村謙一 准教授
学生交流推進課 今井京子 課長、八幡美穂 係員
4. 主要な協議内容等：
 - (1) 昨年度（第2次第3期）日韓生の成績や学習態度に関する問題の共有と今後の方策
 - (2) 本プログラムの大阪大学在籍学生や卒業生の成績や進路、兵役休学に関する諸問題
 - (3) 現在の韓国社会の変化や学生のニーズの多様化（韓国側からの説明）
 - (4) 第2次第4期日韓生に関する情報（韓国側からの説明）
 - (5) 日韓双方の関係者間の連携強化の必要性